



たんぽぽ



幌別小学校ことばの教室

令和6年5月27日

6月号



サクラ 満開の笑み

本校裏手にある、中庭のサクラです。
今年もきれいに咲きました。

初夏の風がさわやかな季節となりました。

街中の木々や草花の色も鮮やかになり、子どもたちの明るい笑顔があちらこちらに見られています。子どもたちは、新しい環境や学習内容に戸惑いながらも、自分なりのペースをつかみ始めているかと思われます。

培ってきた力をうまく発揮できる子、まだうまくいかず失敗したと感じている子、様々だと思います。保護者の皆様と協力し合いながら、成長の手助けができるようにと思います。

あたらしい
おともだち

3歳の男の子が新しく通級します。
よろしくお願ひいたします。

情報交換（小学部）ありがとうございました

小学部では5月の1か月間に、他校通級のお子さんの授業参観と、担任の先生との懇談を行いました。普段見ることのできない、がんばりの様子を知ることができ、大変感動して帰ってまいりました。今回いただいた貴重な情報は、今後の指導の充実に生かしていきたいと思ひます。

ご理解とご協力、誠にありがとうございました。

6月の主な行事予定

- 6日（木）教育相談
- 8日（土）幌別小学校運動会
- 10日（月）幌別小学校運動会
振替休業日
（指導はお休みです）
- 13日（木）あーそば
- 14日（金）幌別小学校開校記念日
（指導はお休みです）
- 20日（木）教育相談
- 27日（木）教育相談

ことばの教室から

本校の校長室の前（ことばの教室の玄関のすぐ横です）に、次のような作文が掲示されています。この場をお借りして、ご紹介いたします。

努力のつぼ

1年 角野 愛



「お母さん、努力のつぼの話、またして。」

「うん、いいよ。今度はなあに。」

「逆上がり。」

「あらあら、まだいっぱいになっていなかったのね。随分大きいねえ。」

と言いながら、お母さんは椅子を引いて、私の前に座りました。そしてもう何回もしてくれた努力のつぼの話をもたゆくりと始めました。それはこんな話です。

人が何か始めようとか、今までできなかったことをやろうと思った時、神様から努力のつぼをもらいます。そのつぼはいろんな大きさがあって、人によって、時には大きいものやら小さいものやら色々あります。

そしてそのつぼは、その人の目には見えません。でもその人がつぼの中に一生懸命「努力」を入れていくと、それが少しずつたまって、いつか「努力」が溢れる時、つぼの大きさが分かるということです。

だから休まずにつぼの中に努力を入れていけば、いつか必ずできる時がくるのです。

私はこの話が大好きです。幼稚園の時、初めてお母さんから聞きました。その時は、横ばしごの練習をしている時でした。それから一輪車や、鉄棒の前回り、跳び箱、竹馬。何でも頑張っている時お母さんに頼んでこの話をしてもらいます。

くじけそうになった時でも、この話を聞いていると、心の中に大きなつぼが見えてくるような気がします。そして私の「努力」がもう少しで溢れそうに見えるのです。

だからまた頑張る気持ちになれます。

お母さんの言うとおりに、今度の逆上がりのつぼは、随分大きいみたいです。逆上がりをはじめから、もう2回もこの話をしてもらいました。でも今度こそ、あと少しで溢れそうな気がします。だから明日からまた頑張ろうと思います。

お母さんは「つぼが大きいととても大変だけど、中味がいっぱいあるから、あなたのためになるのよ。」と言ってくれるけど、今度神様にもらう時は、もう少し小さいつぼがいいなあと思います。

（出典：朝日作文コンクール「子どもを変えた親の一言」作文25選 明治図書）

努力のつぼを溢れさせようと頑張っている、ことばの教室の子どもたち。そしてまた、一緒に通ってきてくれているご家族の皆様も、同じ思いをされていることと思われます。ことばの教室の存在が、皆様の努力のつぼがいっぱいになるためのお手伝いができるような、そのような存在になれたらいいなと思っています。（泉野）